

For city amenities

# PUBLIC DESIGN GUIDELINES

美しい都市づくりのための  
公共施設等デザインガイドライン



CONTENTS  
目次

1 . 目的と位置づけ - 美しい都市づくりのために -	1
2 . ガイドラインの運用	2
3 . ガイドラインの構成	3
4 . 公共施設等のデザインの基本的考え方	5
5 . 事業段階別の景観づくりの考え方	6
6 . 施設別ガイドライン	7
道路	7
駅舎・駅前広場	10
公園・広場・緑地・緑道	12
河川・水路	14
橋梁	16
公共建築物	18
供給処理施設	21
7 . 要素別ガイドライン	22
緑と水	22
境界部の施設	24
舗装	26
ストリートファニチュア	29
夜間照明	31
8 . デザインチェックリスト	33
道路	34
駅舎・駅前広場	36
公園・広場・緑地・緑道	38
河川・水路	40
橋梁	42
公共建築物	44
供給処理施設	46
用語説明	48

# 01. 目的と位置づけ - 美しい都市づくりのために -

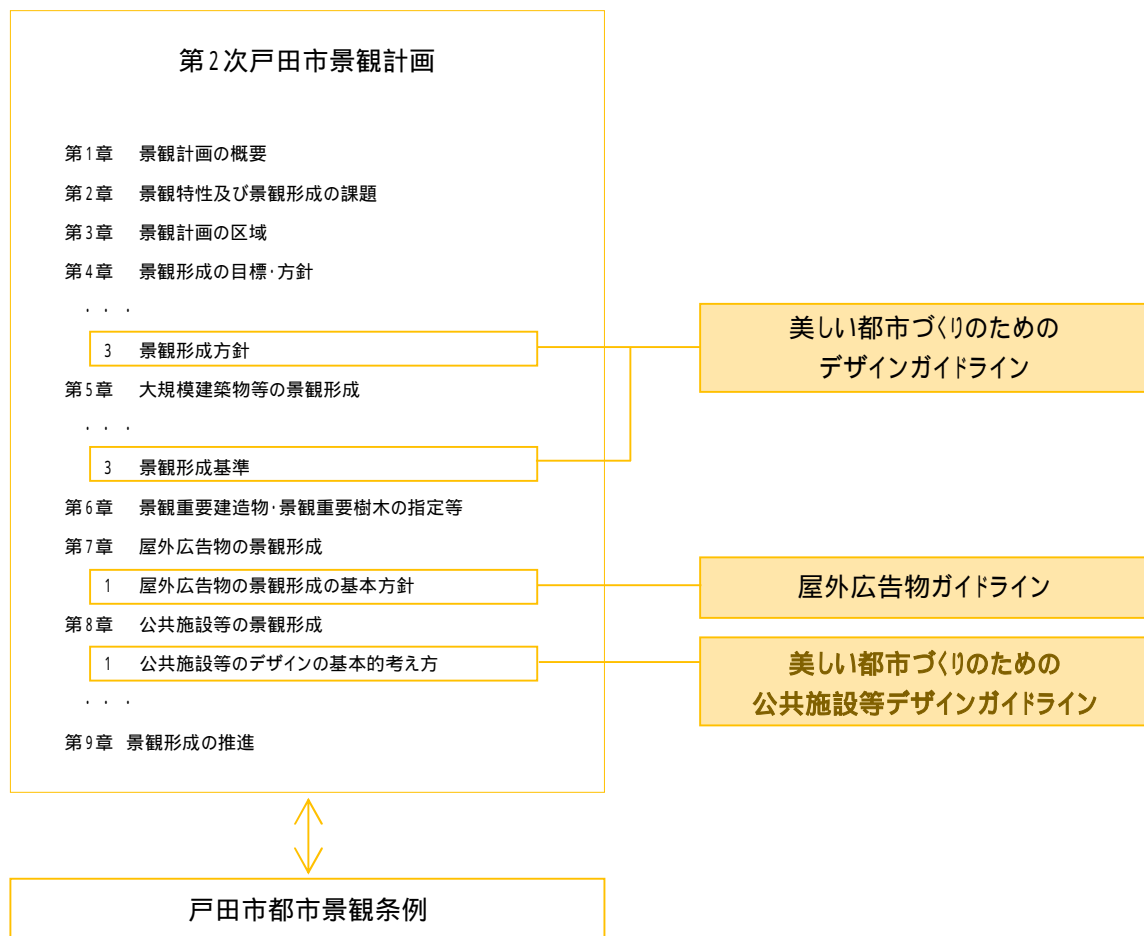
戸田市では、これまで取り組んできた戸田市都市景観条例及び戸田市景観計画に基づく美しい都市づくりを継承し、より効果的な景観誘導を行うため、令和元年12月に第2次戸田市景観計画を策定しました。

第2次景観計画では“「季節とまちの息吹を感じる景観づくり」～住んでよし、働いてよし、訪れてよしのまちを目指して～”を景観形成の目標とし、この地で暮らし、働く人々が愛着と誇りを持ち、訪れる人々が魅力を感じるまちを目指して、次世代に引き継いでいくこととしています。景観形成の重要な要素である建築物や工作物は、単体としての美しさに加えて周辺環境と調和したデザインが求められます。市全域における建築物等のデザインの基本的考え方のもと、戸田らしい風景を創出していくには、市民・事業者・市の3者が協力して、さらなる景観の質的向上を図っていく必要があります。

(戸田市 美しい都市づくりのためのデザインガイドライン)

本ガイドラインは、「第2次戸田市景観計画」に基づき、市民・事業者・市のパートナーシップによる一体的な景観づくりを実現していくため、公共施設等( 1 : 巻末の用語説明参照)のデザイン指針としてまとめたものです。

景観計画と各種ガイドラインの関係



## 02. ガイドラインの運用

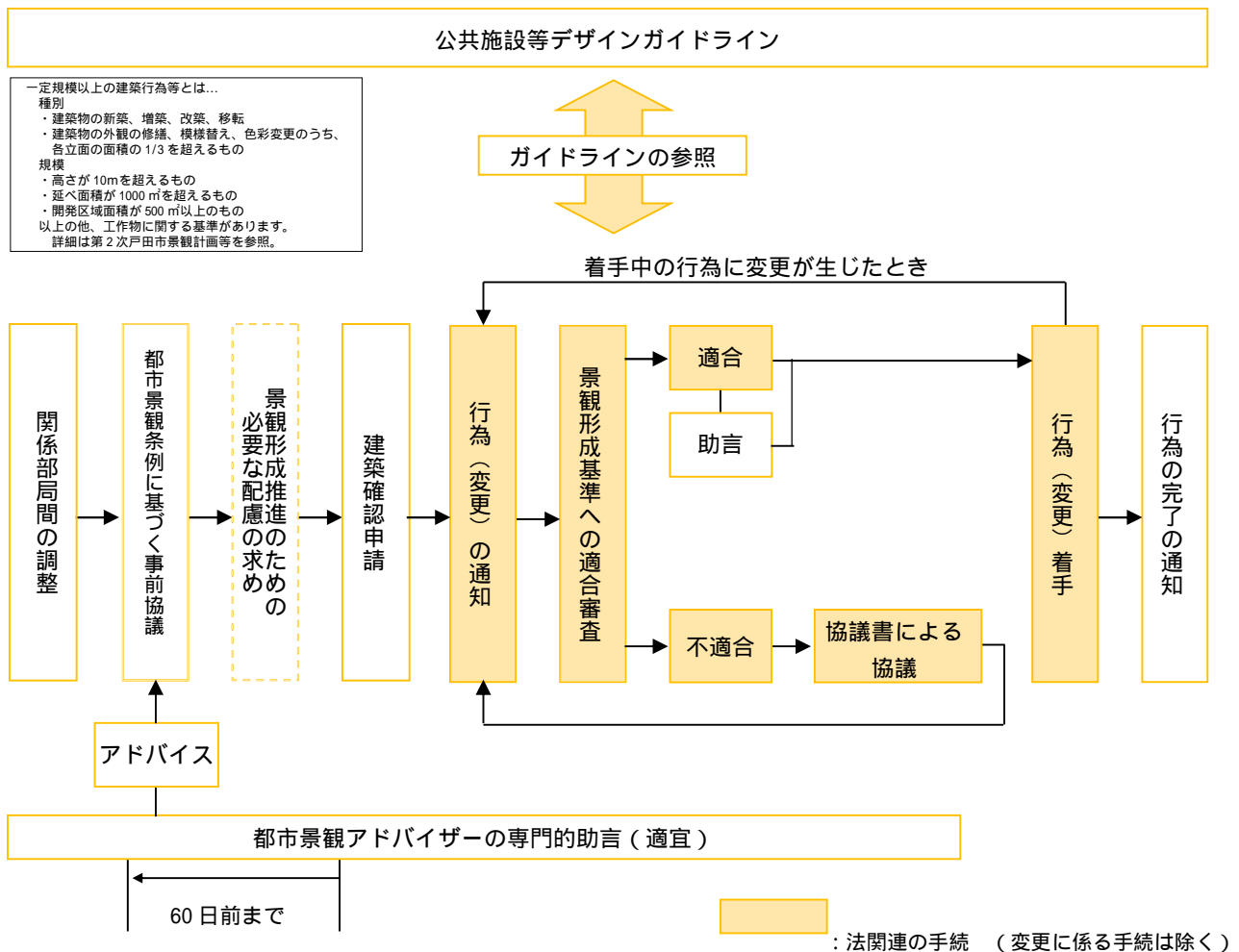
本ガイドラインは、公共施設等の質の高いデザインを通じた景観形成を図っていくため、第2次戸田市景観計画に定められた「公共施設等のデザインの基本的考え方」に基づく具体的な手引きとなるよう取りまとめています。公共施設等の整備を行う際には、良好な景観形成にむけたヒントを得るために本ガイドラインを活用することが望まれます。

なお、景観計画区域における一定の行為については景観法に基づく届出対象行為として定めていますが、このうち国の機関又は地方公共団体が行う行為については、景観行政団体の長である市長に通知するものとされています。該当する公共施設等については、地域の景観形成における先導的な役割を果たすため、通知の前に、建築確認申請の60日前までに事前協議書を提出し、都市景観条例に基づく都市景観アドバイザーを活用した事前協議を行います。

さらに、これらの制度によって特定の公共施設等に対して協議・調整を行うだけでなく、その他の公共施設等についても、必要に応じて都市景観条例に基づく都市景観アドバイザーを活用した個別相談による景観調整を実施します。

これらの行為については本ガイドラインに沿ったデザインの工夫が求められることとなります。

### 公共施設等の整備とデザインガイドラインの関係（一定規模以上の建築行為等の場合）



法に基づく届出対象行為のみ対象となります。

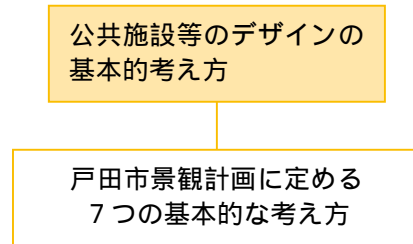
建築確認申請を伴わない行為の場合は、行為着手の60日前までに事前協議を開始します。

## 03. ガイドラインの構成

本ガイドラインは、「公共施設等のデザインの基本的考え方」「事業段階別の景観づくりの考え方」「施設別ガイドライン」「要素別ガイドライン」「デザインチェックリスト」により構成されています。

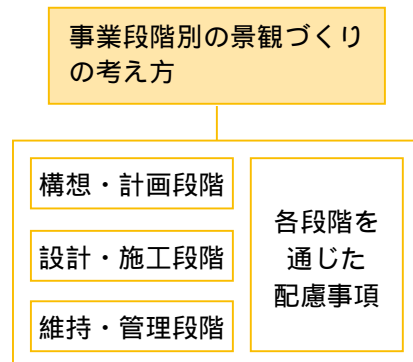
### 公共施設等のデザインの基本的考え方

本ガイドラインで対象とする施設に共通するデザインの基本的考え方として、第2次戸田市景観計画に定める7つの基本的な考え方を示しています。なお、色彩に関する事項は「美しい都市づくりのためのデザインガイドライン」に、屋外広告物に関する事項は「屋外広告物ガイドライン」に記載しています。



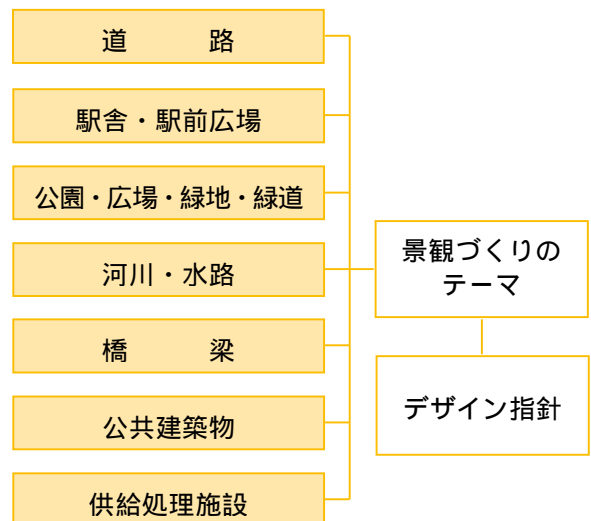
### 事業段階別の景観づくりの考え方

施設整備事業における「構想・計画」「設計・施工」「維持・管理」の各段階における景観づくりの考え方と各段階を通じた配慮事項を示しています。



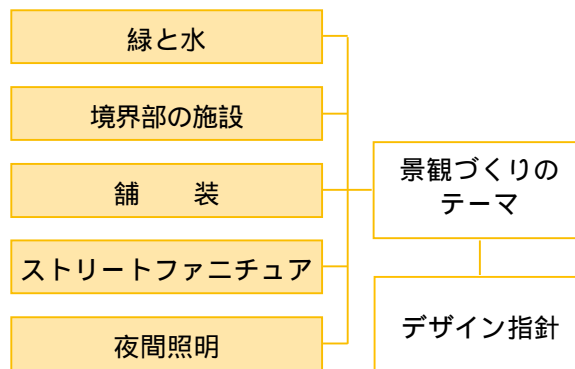
### 施設別ガイドライン

本ガイドラインで対象とする施設ごとのガイドラインとして、景観づくりのテーマとデザイン指針を示しています。



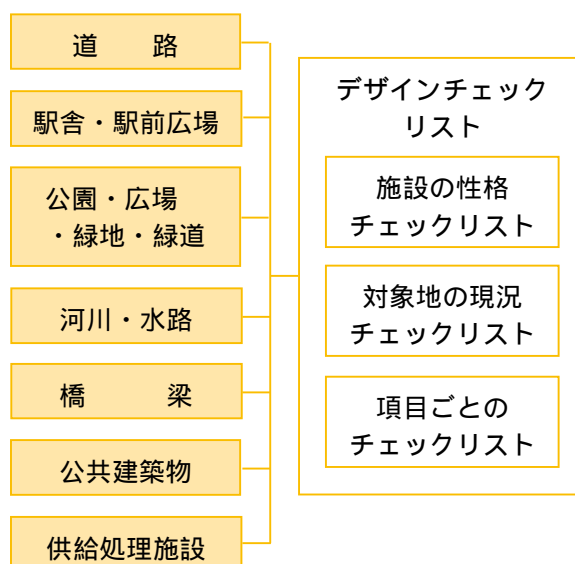
### 要素別ガイドライン

デザインの要素ごとのガイドラインとして、景観づくりのテーマとデザイン指針を示しています。



### デザインチェックリスト

ガイドラインに基づくデザインを検討する際に使用する施設ごとのチェックリストを示しています。対応する施設のチェックリストを活用してください。



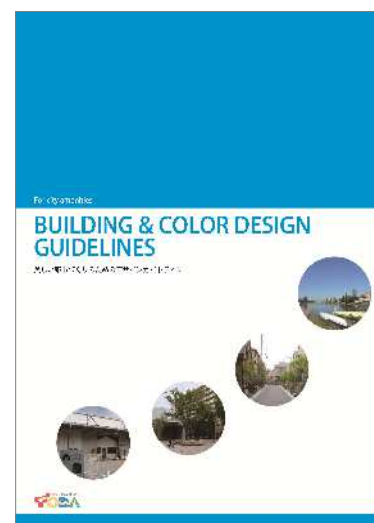
### < 色彩に関する事項 >

(戸田市 美しい都市づくりのためのデザインガイドライン P63-68)

～色彩はまち並みに大きく影響する重要な要素です。

以下の配慮ポイントを理解し、まち並みにふさわしい配色を考えましょう～

- ・目立たせるものとなじませるものの秩序を考える
- ・周辺の色彩を知り、共通の雰囲気をもたせる
- ・調和しやすい色彩の組み合わせを考える
- ・見慣れた自然素材に近い色をいかし、騒色を避ける
- ・その場所や建物の用途にふさわしい色彩を考える
- ・色彩の心理的効果をいかし、連想ゲームは避ける
- ・建物の規模や形態・素材にふさわしい色彩を考える
- ・対比の強い白と黒の配色に注意する
- ・耐久性にすぐれた色彩を考え、メンテナンスを心がける
- ・建物や緑と調和する外構を考える



美しい都市づくりのための  
デザインガイドライン

## 04. 公共施設等デザインの基本的考え方

本ガイドラインによる公共施設等のデザインによる美しい都市づくりを目指す上での視点は、第2次戸田市景観計画に定める次の7つの基本的な考え方を基本としています。

### 環境と共生する施設としてデザインする

循環型社会に対応し、環境への負荷が少なくなるようデザインを工夫し、周辺環境との調和を図る等、環境と共生する公共施設等を目指します。

### ユニバーサルデザイン（2）の理念に基づいてデザインする

年齢、性別、障がいの有無、社会的な立場等に関わらず、全ての人にとって安全で快適な施設として整備するとともに、ユニバーサルデザインの理念に基づき、使いやすさはもとより、美しさの視点にも配慮したデザインに努めます。

### 開放性と安全性を確保する

市民の利便性の向上につながる施設間の境界部分では、利用者の安全性や施設のセキュリティを確保しつつ、開放的なデザインとします。

### 地域景観の骨格を形成する

道路、河川等の公共施設は地域景観の骨格であり景観の背景となるものであることから、できる限り電線・電柱等のないシンプルですっきりとした、また伝統的なデザインを原則とし、背景として心地よい公共施設を目指します。また、公共建築物は、地域のランドマークとなっているものが多く、特に多くの市民が利用する施設については、戸田らしさを表現する質の高いデザインに努めます。

### 豊かな緑を保全・創出する

公共空間の緑化や、公共空間における良好な既存樹木の保全と適切な維持管理を行うことにより、緑の量の確保をするとともに、質の向上にも努め、潤いを感じられる緑豊かな公共空間づくりに努めます。

### 一体的で連続的にデザインする

美しい全体デザインのために、総合的なデザインの視点で公共空間を整備・改善していきます。また、隣接の民間施設との連続性にも配慮し、周辺の状況、地域の特性等に応じて融和型や対比型の連続デザインとして配慮します。

### 市民・事業者・市との協働により計画づくりから維持管理までを行う

公共施設等の多くは公共管理が原則ですが、公共管理が行き届きにくい所等では、周辺住民の協力が不可欠です。そのため、市民・事業者・市との協働で計画づくりから維持管理まで行うことを検討します。



# 05. 事業段階別の景観づくりの考え方

本ガイドラインで対象とする公共施設等は地域の景観に大きな影響を及ぼすことが考えられるため、事業の早期の段階から景観づくりに関する検討を行うことが大切です。「構想・計画」「設計・施工」「維持・管理」のそれぞれの段階において、以下のような考え方で検討を行うものとします。

## 事業段階別の景観づくりの考え方と配慮事項





## 道路

## 景観づくりのテーマ

道路は都市の骨格をつくとともに、市民の生活と深く関わるものでもあります。車や歩行者などを安全、迅速、確実に通行させるばかりでなく、人々の交流や防災などのためのオープンスペース、ライフラインの収容空間など様々な機能を持つ都市の根幹的なインフラストラクチャーです。また、まち並み景観の「地」となる要素であることから、道路の性格に応じた主張しすぎない景観づくりが求められます。人々にうおいを与える季節感豊かな空間としたり、地域のまち並みと調和し、また美しいまち並みを先導するデザインとしていくことが必要です。このようなことから公共空間における「道路」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

人にやさしく、まち並みと調和のとれた地域になじむ道路景観づくり

## デザイン指針

## 道路の機能と性格に応じた地域になじむデザインとしましょう

- ・都市の骨格をつくる広域的な幹線道路は、シンボル空間となるよう高木の街路樹の配置、市内への入口部分や主要交差点の特徴づけなどにより、わかりやすく、風格のある空間デザインを検討する。
- ・駅前など商業地の道路は地域らしさにぎわい、楽しさを演出する空間デザインを検討する。
- ・住宅地内の幹線道路は生活動線のネットワーク性を高め、四季を感じさせる親しみやすい空間デザインを検討する。



高木の街路樹や豊かな植樹帯により道路の風格をひきたえています。



にぎわいや楽しさを感じさせる歩行者のための道としてデザインしています。



街路樹や季節感のある花により親しみやすい生活道路としています。



既存樹を残すことにより、地域イメージと調和した空間デザインとしています。



街路樹や舗装などのトータルなデザインでフォーマルな雰囲気を演出しています。



歩道の中央部に街路樹と街灯を配置し、明るい印象のデザインとしています。

### 歩行者や自転車が安全・快適に利用できる道路としましょう

- ・歩行者の多い駅前の道路や市民の日常生活空間となる住宅地の幹線道路では、わかりやすく、誰もが安全で快適に利用できるよう構造やデザインを検討する。
- ・舗装面は滑りにくく、また大きな段差をつけないようにするなどユニバーサルデザインに配慮する。
- ・道路の規格に応じて適切な歩車分離を検討し、可能な場所では車の狭窄やハンプ（ 3 ）などによりコミュニティ道路（ 4 ）としての整備も検討する。



段差の少ない歩道により、ベビーカーなどの通行がスムーズとなっています。



クランクと舗装の工夫によって車の速度低減を図っています。



沿道のセットバック空間と一体となって歩行者空間を豊かなものとしています。



電線を地中化し、すっきりとした街並みを実現しています。

### 道路景観の連続性を大切にしましょう

- ・街路樹や植樹帯により連続性のある緑の帯をつくる。
- ・舗装のデザインにより個性ある通りとしての演出に配慮する。



美しい高木の街路樹が道路景観の連続感と樹陰をつくっています。(戸田市)



舗装デザインなどにより、視線を奥へと誘導しています。

### ポイントとなる場を特徴づけましょう

- ・主要な交差点部は舗装の変化や街角広場等の設置により特徴づける。
- ・横断歩道や横断歩道橋、バス停などをデザインのポイントとする。



地域の特徴となる通りの舗装を周囲と異なるデザインにしています。(戸田市)



バス停の舗装に変化をつけています。

### 維持管理にも配慮した素材や施設を考えましょう

- ・耐久性があり汚れが目立たない素材を採用するなど維持管理面に配慮する。
- ・地域住民が管理に関わる花壇などのスペースを確保する。
- ・整然と駐輪できる施設やスペースを確保する。



住民が育てている花壇が景観にうるおいを与えています。



歩行者の邪魔にならないよう整然と駐輪できる設備を設置しています。

## 駅舎・駅前広場

### 景観づくりのテーマ

駅舎・駅前広場は交通の結節点であるとともにまちの玄関口であり、多くの人が行き交う場所です。多くの人が集まることからまちの賑わいの中心的な空間でもあります。このため、誰もがわかりやすく利用しやすい空間とすることはもちろん、まちの顔として個性と風格を感じさせる印象的なデザインとするとともに、人々の交流空間として賑わいのある景観づくりを目指していくことが求められます。このようなことから公共空間における「駅舎・駅前広場」の景観づくりのテーマとして以下のように設定しました。

誰もが利用しやすく、印象的で賑わいのある駅前景観づくり

### デザイン指針

地域の顔となる個性的で魅力的なデザインとしましょう

- ・ 交通広場の配置、デッキ、照明や植栽、駅舎の一体的なデザインにより顔となるイメージづくりを図る。
- ・ 待ち合わせなどのため人の集える空間を確保する。



全体を透明感のある軽快なデザインで新しい街のイメージを演出しています。



豊かな歩行者空間や施設デザインの高質化により街の玄関口を演出しています。  
(戸田市)



高架駅の壁面の工夫により健康的で明るい地域イメージを表現しています。



田園都市にふさわしい豊かな緑を配置し、駅舎デッキに展望テラスを設けています。

### 誰もが利用しやすいゆとりある歩行者空間の確保と緑の演出を工夫しましょう

- ・市民が駅前で集い、楽しめる広場空間の確保につとめる。
- ・歩行者に樹陰をもたらす高木の導入を工夫する。
- ・大きな段差をなくすなど移動のしやすさに配慮する。
- ・ピクトグラムの表示や多言語による表記などわかりやすい案内を工夫する。



水辺の広場が昼夜を通して公園のような憩いの空間となっています。



歩行者広場をまとめて確保し、イベント等に活用しています。



駅前広場につながるゆったりとした歩行者空間としています。



駅から続くデッキに歩行者用のエレベーターを設置しています。

### 駅前広場に設置する施設は一体的なデザインを検討しましょう

- ・交番、公衆トイレ、駅前駐輪場など、駅前広場や駅舎デザインとの調和に配慮するとともに、景観のポイントとなるような高質なデザインを検討する。
- ・ペDESTリアンデッキ（ 5 ）を配置する場合は、歩行者動線と沿道施設利用に配慮し、配置や高さを検討する。



駅舎と一体的なデザインとし、屋上を緑化した駐輪場。



すっきりと落ち着いたデザインの交番。  
（戸田市）

## 公園・広場・緑地・緑道

## 景観づくりのテーマ

公園・広場・緑地・緑道は都市の緑の骨格をつくとともに、人々の憩い、交流、通行などのための空間であり、四季折々の緑に身近に親しむことができる場所でもあります。地域住民が身近に利用することが多いことから、地域で親しまれる施設とすることが必要です。このため、日常的に利用する住民の声を取り入れたり、地域住民と連携して維持管理を行う仕組みを考えることも重要です。誰もが利用しやすく地域の個性と魅力を高める景観づくりが求められます。このようなことから公共空間における「公園・広場・緑地・緑道」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

地域住民に親しまれ、地域の魅力を高める緑の景観づくり

## デザイン指針

人の活動との連携や地域性に配慮した個性づくりを工夫しましょう

- ・敷地の規模等に合わせて多機能となりすぎないように留意しながら地域らしい特徴を持たせたデザインとする。
- ・子どもの遊び場や大人の休憩スペースなど利用のされ方を意識した空間を用意する。
- ・街なかの広場では待ち合わせや憩いなど、人の活動とつながりをもたせるようデザインを工夫する。



夏場は水場として、冬場は花壇のあるベンチとして人の集まる中心としています。

(戸田市)



かつてあった橋梁の親柱と高欄の一部を残して風景の記憶を継承しています。

(戸田市)

誰もが利用しやすく、周辺に対して開放感のあるつくりを検討しましょう。

- ・境界部には可能な限りフェンスや塀を設けず、開放的で明るいイメージとする。
- ・足元の視界や交差点での見通しを確保するなど安全に利用できる空間づくりを検討する。
- ・境界部の段差の解消や車いすでの利用にも対応した遊具を設置するなどユニバーサルデザインに配慮する。



道路からの見通しを確保しています。

(戸田市)



回遊式の公園にスロープを設けています。

### 施設の性格や敷地の状況に応じた緑化を考えましょう

- ・施設の性格や敷地の状況に応じて中高木や低木、地被類など多様な緑を効果的に導入する。
- ・常緑樹や落葉樹を組み合わせた樹種の選定により、四季の変化を楽しめるよう工夫する。
- ・高木を配置する場合は死角をつくらず、視界を妨げないよう配慮する。



様々な緑を多様な手法で植栽し、変化のある空間を生み出しています。



高木により緑陰をつくりつつ、見通しのよい公園としています。

### 周辺からの見られ方や施設から周辺の見え方を意識しましょう

- ・ポイントとなる場所がひきたつようデザインの調整を図る。
- ・シンボルツリーなどアイストップとなる要素の設置を検討する。
- ・高低差のある公園や広場には周辺を眺望できる場所をつくる。



公園外からも見える位置にシンボルツリーを配置しています。



高低差のある広場内に周辺を眺望できるテラスをつくっています。



全体に調和した色彩や素材感で、周辺との一体性が感じられます。



公園内の歩道橋をシンボリックなデザインとしています。

## 河川・水路

### 景観づくりのテーマ

河川・水路は市街地内の線的に広がるオープンスペースとして都市の骨格をつくるとともに、市民が身近に自然的環境に触れられる場所でもあります。河川や水路の景観は自然の営みや長年にわたる人々との関わりによりつくられてきたものであり、荒川をはじめとする大河川や都市内の中小河川・水路、ポートコースなどは戸田市の景観を特徴づけています。これらの水辺は市民の憩いの空間であるばかりでなく、多様な生物の棲息空間としても貴重なものとなっています。このため、自然を基調とした景観づくりとともに、水辺の景観を享受できる空間づくりが求められます。このようなことから公共空間における「河川・水路」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

自然的環境を享受できる快適な水辺の景観づくり

### デザイン指針

河川の機能と性格に応じた自然的環境の保全・再生に配慮しましょう

- ・河川改修に際しては多自然型工法など、自然浄化機能の維持向上に資する整備を検討する。
- ・水の流れを確保する工夫や噴水や落差を活かした酸素を取り入れる工夫、導水等により水質の向上を図る。
- ・可能な場所では市民参加による水辺のビオトープづくりを検討する。



多自然型工法によって生物の棲息空間づくりを進めています。(戸田市)



多孔質ブロックを用いて水質浄化を図っています。

人々の生活との関わりや地域性に配慮した地域になじむデザインを工夫しましょう

- ・地域で親しまれている緑など既存樹木の保全に配慮し、新たな緑化は植生に配慮した樹種で園芸品種( 6 )は避ける。
- ・緑化ブロックやツタ、芝生等の他、蛇籠や柳枝( 7 )など伝統的な工法の採用も検討する。
- ・石や木など本物の自然素材の活用につとめ、擬石や擬木、鋼矢板の使用は避ける。



既存の樹木を残して改修を行っています。



市民に親しまれている桜を残しています。(戸田市)





木杭など自然素材を活かした護岸です。



自然石とツタで護岸を修景しています。

### 水辺の散策路や水辺に親しめる場所づくりにつとめましょう

- ・ 歩道や管理用通路、水際のテラスなどを活用し、水辺の散策ルートづくりにつとめる。
- ・ 水辺や周辺の景観資源との連携を図る。



道路沿いの散策路の他、水辺に近づける場所を設けています。(戸田市)



管理用通路を遊歩道とし、隣接する公園と一体化を図っています。



ボート用につくられた水辺ですが、憩いの場としても市民に親しまれています。(戸田市)



河川沿いに連続したプロムナードを整備しています。

## 橋梁

### 景観づくりのテーマ

橋梁は河川と道路の交差点に位置する空間の結節点であり、景観を特徴づける要素でもあります。橋上は河川のオープンスペースを眺める場所として、また水辺を感じることができる場所としても重要で、特に大規模な橋梁はランドマークとしても機能しています。このため、橋梁の構造を素直に見せるシンプルなデザインを基調とするとともに、地域のシンボルとなる個性の表現や水辺を眺める視点場としての景観づくりが求められます。このようなことから公共空間における「橋梁」の景観づくりのテーマとして以下のように設定しました。

地域のシンボルとなり、水辺の眺めを楽しめる橋梁景観づくり

### デザイン指針

周辺との一体的な景観を構成する要素となるようデザインしましょう

- ・周辺の土地利用や水辺のイメージなどにふさわしいデザインのあり方を考える。
- ・橋梁の構造がもつ特徴を活かしたシンボリックなデザインとする。



多自然型工法による河川改修に合わせ、木橋（人道橋）としています。（戸田市）



自然な環境に映える、シンプルでシンボリックなデザインです。（戸田市）



歩行者動線と連動し、流れるようなデザインとしています。



特徴的なシルエットが印象的なトラス橋です。

### 橋上施設や橋詰（ 8 ）を含めた一体的なデザインを検討しましょう

- ・地域の歴史性や、橋の歴史などを考慮して高欄、親柱、舗装を一体的にデザインする。
- ・形態に具体的なモチーフを用いる場合には安易なものせず、公共施設としての風格や周辺景観との調和を考えた質の高いデザインを検討する。
- ・橋台や橋上施設の修景はできるだけ石や木、その他、自然素材を活用する。



照明と高欄に同じパターンのデザインを採用しています。



橋詰にパブリックアート作品を設置しています。

### 歩道にゆとりがある場合は橋上緑化を検討しましょう

- ・コンテナやプランターを用い、橋上緑化につとめる。
- ・橋詰広場を設ける場合は高木植栽を検討する。



橋上に植栽帯を設けて緑化しています。



橋詰めに高木を配した広場的な空間をつくっています。

### 水辺の眺めを楽しめる場づくりにつとめましょう

- ・橋詰広場を設ける場合は、水辺の眺めを楽しめる広場として整備する。
- ・可能であればアルコーブ（ 9 ）など橋上にたたずむゆとりのスペースを設ける。



橋上にアルコーブを設けて彫刻を設置しています。



橋詰めにテラス状の空間を整備して水辺を眺められるようにしています。

## 公共建築物

### 景観づくりのテーマ

公共建築物は地域のまち並みを構成する主要な要素の一つであり、また施設によっては多くの市民が訪れ利用することから人々の目に触れることの多い建築物です。特に規模の大きな施設は良好なまち並みの形成を先導していく役割を担うべきものでもあります。このため、使いやすさと美しさを兼ね備えた質の高いデザインとすることが求められます。地域や場所の特性を十分踏まえるとともに、施設の性格に応じた親しまれる景観づくりを目指していくことが必要です。このようなことから公共空間における「公共建築物」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

利用者に親しまれ、まち並み形成を先導する公共建築物の景観づくり

### デザイン指針

#### 象徴性に配慮したデザインを工夫しましょう

- ・施設の機能や立地などからランドマークとなるべき施設は、特徴的なスカイラインや印象的なファサードのデザインにより象徴性を演出する。
- ・住宅地内や自然環境に近い場所などでは奇抜な形態や色彩が周辺環境から突出しないよう配慮する。
- ・壁面の分節化、表情ある素材の使用や陰影のある表面仕上げなどによりきめ細やかなデザインを工夫する。



地域のランドマークらしく、シンボリックなデザインとしています。(戸田市)



勾配屋根と伝統的なデザインモチーフにより象徴性を高めています。(戸田市)



エントランス部分をデザインのポイントとしています。(戸田市)



校舎の壁面にシンボルとなる時計をデザインしています。

地域性に配慮した親しみやすいデザインを工夫しましょう

- ・地域性や近接する公共施設のデザインとの関係に配慮しながら、周辺環境にとけ込むデザインを基調とする。
- ・色彩や植栽、エントランスの工夫など、市民に親しまれるデザインを検討する。
- ・設備類や倉庫、駐車場等も建物本体と一体的にデザインする。



色彩や外階段、エントランスの工夫により親しみやすいデザインとしています。



施設の前面に配置された駐車場を緑化して施設デザインをひきたてています。



全体を落ち着いた色調でまとめることにより周囲になじむデザインとしています。



緑の拠点となるよう敷地内に多くの植栽を整備しています。



ガラス面により軽快で圧迫感のないデザインとしています。(戸田市)



分棟にして三角屋根を載せたユニークなデザインの公衆トイレです。

### 誰もが快適に利用できる歩行者空間の形成に配慮しましょう

- ・敷地内に可能な限り歩道状空地の確保につとめる。
- ・塀や柵をできるだけ低くしたり、前面に低い植栽などを設けるなど歩行者に圧迫感を与えないよう工夫する。
- ・大きな段差をなくし、わかりやすい空間構成やサインの設置など、ユニバーサルデザインに配慮する。



塀にスリットを入れ歩行者空間が無表情にならないようデザインしています。



敷地内に歩行者が通行できる緑豊かな空間をつくっています。



歩行者専用道路と一体化したゆとりのある歩行者空間を生み出しています。



敷地内に歩行者が自由に通り抜けられる通路を設けています。

### 花や緑の豊かな戸田らしい緑化を工夫しましょう

- ・桜など季節を印象づける樹木や歴史を伝える古木をシンボルツリーとして配置する。
- ・防犯面にも配慮しながら、常緑樹と落葉樹、草花等の組み合わせにより四季を演出する敷地内緑化を工夫する。
- ・屋上緑化や壁面緑化など個性的な緑化を工夫する。



小学校の校門を花壇とフラワーポットで華やかに演出しています。(戸田市)



滑らかなカーブに沿って配置された花壇の帯が通りに彩りを与えています。(戸田市)

## 供給処理施設

### 景観づくりのテーマ

供給処理施設は生活を支える重要な施設ですが、市民にとっては訪れる機会が少ないことからなじみの薄い施設であることは否めません。施設の整備にあたっては、安全面や環境面における配慮を徹底することはもちろん、ゆとりのある敷地を活かした開放的なオープンスペースの創出や親しみやすいデザインに配慮するなど、都市環境の向上や良好な景観づくりに貢献していく視点が求められます。このようなことから公共空間における「供給処理施設」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

市民に親しまれ、都市環境の向上に貢献する供給処理施設の景観づくり

### デザイン指針

広い敷地を活かして緑の拠点となるようデザインしましょう

- ・敷地の緑化と建物や施設の上部の緑化を積極的に進める。
- ・鉄塔やタンク等の独立した工作物の周囲を重点的に緑化修景する。



下水処理場の上部を庭園として利用しています。



敷地内の植栽計画や屋上緑化を工夫し、緑豊かなデザインとしています。

親しまれる施設デザインを検討しましょう 22

- ・長大面の分節化、表情ある素材の使用や陰影のある表面仕上げなどによりきめ細やかなデザインを工夫する。
- ・落ち着いた色彩の採用により圧迫感を軽減する。



管路橋の上を歩行者や自転車が通れるようにしています。



丸みのある親しみやすい建物デザインとしています。

## 緑と水

### 景観づくりのテーマ

緑や水は市街地内において環境の維持や改善、防災などの面で重要な役割を果たすとともに、市民に憩いの場や自然と触れあう機会を提供するなどの役割もあります。また、景観的には自然的景観の主要な要素であり、まち並みにうるおいを与えるものでもあります。安らぎとうるおいのある景観づくりのためには、四季を感じさせる花や樹木、歴史を伝える巨木、動きのある水の流れなど、景観を演出する要素として緑と水を効果的に活用していくことが大切です。このようなことから公共空間における「緑と水」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。なお、「緑と水」のデザインにあたっては「戸田市緑の基本計画」や「戸田市環境基本計画」を前提とするものとします。

環境にやさしく、やすらぎやうるおいが感じられる緑や水辺空間の配置

### デザイン指針

#### 既存の緑や自然環境に配慮してデザインしましょう

- ・巨木や地域のシンボルとなっている樹木や地域で多く見かけるなじみのある樹種を活用する。
- ・河川や水路の改修にあたっては自然環境の再生に配慮する。
- ・生物の棲息空間との関係に配慮しながら自然に親しめる場をつくる。



既存樹木を移植して活用しています。



学校内にビオトープ空間を設けています。

#### 目に見える緑を増やしましょう

- ・敷地内には緑地の面積をできるだけ多く確保する。
- ・屋上や建物壁面、塀、擁壁などを緑化の対象として活かす。
- ・通りから次第に高くなる植栽の配置など、視野に入りやすい植栽とする。



ゆったりとした植樹帯を通り沿いに設けています。



駅前からよく見える駐輪場の屋上を緑化しています。



### 街なかの水辺の創出につとめましょう

- ・公園や広場、駅前広場、緑道など公共施設敷地内を活用し、街なかの水辺の創出につとめる。
- ・噴水や水の流れなど動きのある演出を工夫する。



せせらぎのある緑道です。



駅前に整備された噴水です。

### 親しみやすさや維持管理のしやすさに配慮した敷地内緑化につとめましょう

- ・季節感を感じさせる花や樹木など誰もが親しみを感じる緑としたり、地域住民が植栽できるスペースを確保するなど、維持管理への地域住民の参加を促すよう工夫する。
- ・地域環境に合った樹種や手入れの平易な樹種を選定したり、維持管理が困難な場所での植栽を避ける。
- ・維持管理の体制を想定しながら緑化の場所や植栽の方法を検討する。



建物の柱に直接植栽を施して緑化しています。



花の種類や樹形を工夫して見た目の楽しさや華やかさの演出をねらっています。

### 環境に配慮した素材の活用につとめましょう

- ・透水性舗装の活用につとめる。
- ・リサイクル資材や間伐材の活用や、落ち葉の堆肥としての有効活用を検討する。



リサイクル資材である材木や間伐材を柵や舗装、縁石などに活かしています。  
(戸田市)



リサイクル資材である材木チップを植栽の土の乾燥防止などに活用しています。  
(戸田市)

## 境界部の施設

### 景観づくりのテーマ

敷地や異なる施設の境界部には法面、擁壁、塀、生垣、防護柵、縁石などの施設があります。公共施設等を周辺環境となじんだものとするためには、こうした境界部の処理が重要となります。また、境界部の施設のデザインによって施設の与える印象も異なります。周辺との一体感が生み出すために、安全や防犯などの面で支障のない限り境界部は開放的にし、すっきりと目立たなくデザインすることが求められます。また、施設の印象をやわらげたり、周辺にうるおいを与える効果をねらって緑を効果的に用いることが必要です。このようなことから、公共空間における「境界部の施設」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

印象がやわらかく、ゆとりが感じられる境界部のデザイン

### デザイン指針

安全性や防犯に留意しつつ開放的な処理につとめましょう

- ・可能な場所では垣や柵のない開放的な境界部とする。
- ・狭い道路に接する場合は歩道状空地の確保につとめる。
- ・歩道に隣接する場合はデザインの一体性に配慮する。



公園入口部分に広く空地をとり、開放的なデザインとしています。(戸田市)



敷地の境界部を開放的にし、草花などによって修景しています。(戸田市)



歩道と一体的な空地を敷地内に設けています。



植栽帯の間に歩道状の空地を確保しています。

法面や擁壁、塀は無表情な壁とならないようデザインを工夫しましょう

- ・ 擁壁や塀の場合は可能な限り低くし、上部や外側の緑化につとめる。
- ・ 緑化ブロック等の緑により壁面の露出部分の緑化につとめる。
- ・ 壁面に表情を与えるよう素材や仕上げを工夫する。



緑化ブロックの樹木が生育し、構造物を覆って背後の緑ともつながっています。



ヘデラ類などのつる性植物によって護岸を緑化しています。



擁壁の仕上げを工夫し、表情を創り出しています。



金属板により擁壁面を建築的に修景しています。

防護柵やボラード( 10 )は維持管理のしやすさに配慮するとともに、周辺の景観と調和した素材や色彩としましょう

- ・ 防護柵やボラードは損壊時の補修に手間やコストがかからないよう特注品や希少素材、過度に複雑な形態の使用を避ける。
- ・ 暗色系など汚れが目立たず、落ち着いた印象を与える色彩の塗装や素材を選定する。



わずかな植栽スペースを有効活用してフェンスを緑化しています。(戸田市)



暗色系のガードパイプが緑になじんでいます。

## 舗装

### 景観づくりのテーマ

舗装は地表面を安定性や耐久性を高め、人々の活動を安全で円滑なものとするとともに空間を演出する要素でもあります。景観的には「図」となる上部の施設をひきたてる「地」の要素であることから、主張しすぎず周辺になじむ落ち着いたデザインを基調とすることが求められます。また、設計に際しては水循環の確保や資源のリサイクル、ユニバーサルデザインへの配慮なども必要になります。

このようなことから公共空間における「舗装」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

人と環境にやさしく、景観をひきたてる舗装デザイン

### 様々な舗装材

種類	名称	特徴・活用のヒント
平滑系	アスファルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価。平坦で歩きやすいが、夏は暑くなる。</li> <li>・カラーアスファルトや脱色アスファルトなどでデザインに変化を持たせることも可能。</li> </ul>
	コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安価。平坦で歩きやすいが照り返しが強い。</li> <li>・豆砂利洗い出しや玉石埋込などでデザインに変化を持たせることも可能。</li> </ul>
	タイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・華やかな雰囲気をつくりやすい。</li> <li>・磁器質、せっき質、テラゾー（人造石）、レンガなど多様な素材やデザインがある。</li> <li>・雨天時に滑りやすいものもあるので注意が必要。</li> </ul>
	石	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気や風格をつくりやすい。</li> <li>・御影石、鉄平石など種類により印象が異なる。</li> <li>・タイル形、平板形、乱形、小舗石（ピンコロ）など形状も多様。</li> <li>・パーナー仕上げにより滑りにくくすることも可能。</li> </ul>
	その他 （人工芝／ゴム弾性／合成樹脂など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演出意図や路面の機能に応じて選定する。</li> <li>・リサイクルタイヤ製、透水性などもある。</li> </ul>
ブロック系	コンクリート平板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大判のものは比較的歩きやすい。</li> <li>・カラー平板や擬石平板などのバリエーションもある。</li> <li>・リサイクル製品もある。</li> </ul>
	インターロッキングブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑りにくく歩きやすい。</li> <li>・価格、大きさ、厚さ、色等種類が豊富である。</li> </ul>
	レンガ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑りにくく歩きやすい。</li> <li>・価格、大きさ、色等種類が豊富である。</li> </ul>
	その他（敷石など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演出意図や路面の機能に応じて選定する。</li> </ul>
透水系	ハードな舗装材 （アスファルト／コンクリート／インターロッキングブロック／レンガブロックなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透水性の他、騒音低減効果がある。</li> </ul>
	ハードな舗装と組み合わせて用いる舗装材 （天然石エポキシ樹脂系舗装）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な色や素材感がある。</li> </ul>
	ソフトな舗装材 （芝ブロック／砂利敷き／ダスト／砂／クレイ／土壌改良材／ウッドチップ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場緑化等に適する。</li> <li>・歩行者通路としては歩きにくい。</li> </ul>
木質系	木レンガ／ウッドデッキなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然な風合いで踏み心地が良い。</li> <li>・水辺など自然的景観に調和しやすい。</li> <li>・維持管理に配慮が必要。</li> </ul>
リサイクル資材等	汚泥ブロック／枕木／古瓦／素焼き鉢など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性や手づくり感を創出しやすい。</li> </ul>

## デザイン指針

シンプルを原則としつつ地域らしさを演出しましょう

- ・まち並みや周辺の緑などをひきたてるよう、シンプルでベーシックなデザインとする。
- ・パターンを用いる場合は空間の形状や施設の配置と合わせるなど、他の要素とトータルにデザインする。



植栽の配置と合わせたパターンでフォーマルな印象を創りだしています。



広場の舗装に円形のパターンを用いて楽しい雰囲気を演出しています。



縁石を用いず、緑によるやわらかな縁どりを演出しています。



駐車場の速度低減表示に落ち着いた色使いの樹脂舗装を用いています。



目立たない緑化ブロックによって駐車場区画を緑化しています。



自然的な景観によく調和した歩道です。  
(戸田市)



石材のサイズやパターンを工夫した風格のある舗装です。



石材の目地の部分を緑化したしっとりとした質感の舗装です。

### 環境に配慮した舗装を工夫しましょう

- ・透水性舗装を積極的に活用する。
- ・石・木など自然素材やリサイクル資材注の活用を工夫する。
- ・緑化ブロック等により駐車場舗装の緑化面を増やす。



枕木を緑の中の遊歩道に採用しています。



瓦をリサイクルしてデザインしています。

### 快適で美しいユニバーサルデザインに配慮しましょう

- ・駅前など人通りの多い通りでは、滑りにくい素材や仕上げの工夫、凹凸の少ない舗装材の採用などユニバーサルデザインに配慮する。
- ・歩道と沿道敷地の境界部などで急激に仕上げや高さ等に変化をつけないよう配慮する。
- ・点字ブロックを用いる通りでは視認性に配慮して舗装面の色彩を検討する。



凹凸の少ない舗装材と明度差を利用した点字ブロックを採用しています。



細かい溝を設けることにより滑りにくさに配慮しています。

## ストリートファニチュア

### 景観づくりのテーマ

ストリートファニチュアは「街具」ともいわれ、屋内空間における家具と同様に都市空間における人々の活動を助けるものです。優れたデザインのストリートファニチュアはまち並みを演出する要素ともなります。本来の役割が適切に果たせるよう機能的なデザインを基調としながら、景観をひきたてていく視点が求められます。このため、設置目的や設置場所に応じたまち並みとの調和、使いやすさ、維持管理等に十分配慮したデザインとすることが重要です。このようなことから公共空間における「ストリートファニチュア」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

### 機能的でまち並みをひきたてるストリートファニチュアのデザイン

### 様々なストリートファニチュア

種類	名称	特徴・活用のヒント
休憩施設	イス/ベンチ/テーブル/パーゴラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹陰を日よけとしてツリーサークルベンチを設置することも可能。</li> <li>・広場に休日のみ設置するパラソル・ベンチなども可能。</li> <li>・快適に利用できるよう日常的な維持管理への配慮が必要。</li> </ul>
衛生施設	トイレ/水飲み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然地では土壌浄化方式によるトイレも可能。</li> <li>・デザインのポイントとして活用できる。</li> <li>・トイレはプライバシーの確保と防犯性の視点が必要。</li> </ul>
	ゴミ箱/灰皿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適に利用できるよう日常的な維持管理への配慮が必要。</li> </ul>
交通系施設	バス停/バスシェルター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場では一体的にデザインされることが多い。</li> <li>・維持管理コストを企業の広告によりまかなう方法もある。</li> </ul>
	電柱/架空線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を阻害する要素の代表的なものとして指摘されることも多い。</li> <li>・可能な場合は地下化を検討する。</li> </ul>
公共サイン	案内サイン/誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の施設への案内や誘導を目的とするものや、都市全体を対象とするものがある。</li> <li>・案内や誘導を体系的に捉えたサイン計画が必要。</li> </ul>
	記名サイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口に設置されるものや建物壁面等に設置されるものがある。</li> </ul>
	標識/信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標識や信号などを共架することで煩雑さを抑制することが可能。</li> </ul>

### デザイン指針

周辺の景観との調和や他の要素との一体的なデザインを工夫しましょう

- ・道路や公園等の施設や周辺のまち並みと調和した地域らしいデザインを検討する。
- ・案内サイン、誘導サイン、記名サインなどの公共サインは体系的にデザインする。
- ・歩行者の主動線となる通りでの無電柱化につとめる。



H鋼を共通のモチーフとしたベンチです。



一体的なデザインとしています。



信号、道路標識、道路照明などが煩雑にならないよう一体化しています。



バス Shelter の維持管理コストを企業広告によりまかなっています。

### 親しみやすくわかりやすいデザインに配慮しましょう

- ・自然素材の活用や地域でなじみのあるモチーフを採用するなど親しみやすいデザインとする。
- ・公共サインは利用者にとってわかりやすい配置とデザインにつとめる。
- ・歩行者動線や植栽、照明などとの関係を考慮して配置する。



木材を使ったサインが背景の自然的風景になじんでいます。(戸田市)



地元アーティストのガラス作品を埋め込んでいます。



### ユニバーサルデザインに配慮しましょう

- ・車いすでも利用しやすい形状や高さとする。
- ・触知図や音声による案内を用いるなど誰もが利用しやすい工夫を検討する。



点字と音声による説明が利用できる案内サインです。



障害者の誘導のためのインターホンを設置しています。



## 夜間照明

### 景観づくりのテーマ

夜間照明は安全で安心のできる施設的环境をつくるとともに、夜間景観を演出するものでもあります。このため、安心して快適に過ごせる明るさの確保やわかりやすい照明を工夫するとともに、夜間ならではの景観特性を踏まえた上で夜間景観の演出を図る照明デザインが求められます。また、照明による過剰・不要な光が漏れることによる都市環境や生態系への悪影響を防ぐとともに、無駄を抑えたり自然エネルギーを活用するなど省エネルギーへの配慮も必要です。

このようなことから公共空間における「夜間照明」の景観づくりのテーマを以下のように設定しました。

夜の景観を演出し、やさしさの感じられる照明デザイン

### デザイン指針

夜間景観を演出する照明を検討しましょう

- ・夜間ならではの景観特性を踏まえた上で、照明方法の工夫により夜間景観の演出を図る。



暖色の照明を連続させて水辺に映える夜間景観を演出しています。(戸田市)



構造を浮き上がらせることによって印象を強めています。(戸田市)



高欄ごしの端正で控えめな明かりにより橋梁をおだやかに演出しています。



雰囲気のある歩道橋をロマンティックに演出しています。



樹影が浮かび上がるような演出が工夫されています。



高演色ナトリウムランプ( 12) は色温度( 13) が低く、あたたかみがあります。

### 安全で安心のできる環境をつくるよう配慮しましょう

- ・夜間の都市活動を安全に支えるとともに、安心して快適に過ごせる環境をつくる。
- ・認識しやすくわかりやすい照明を工夫するとともに、犯罪や事故を防止するために必要な明るさを確保するよう配慮する。



街路灯、フットライト、街路樹ライトアップで演出しつつ明るさを確保しています。(戸田市)



夜間にも安心して歩けるよう必要な明るさを確保しています。

### 環境との共生に配慮しましょう

- ・照明による過剰・不要な光が周辺に漏れることにより、生活環境の阻害や交通傷害、生態系へも悪影響を及ぼす「光害」を防止する。
- ・無駄を抑えた効果的な照明を工夫するとともに、太陽光、風力等の自然エネルギーを積極的に活用するなど省エネルギーにも配慮する。



下向きの庭園灯で歩道を照らしつつ必要以上に光が広がらないようにしています。



ソーラーパネルを装備した照明を広場に設置しています。



記入日： 年 月 日

整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト	
	道路の機能と性格に応じた地域になじむデザインとしましょう 都市の骨格をつくる広域的な幹線道路は、シンボル空間となるよう高木の街路樹の配置、市内への入口部分や主要交差点の特徴づけなどにより、わかりやすく、風格のある空間デザインを検討している。 駅前など商業地の道路は地域らしさやにぎわい、楽しさを演出する空間デザインを検討している。 住宅地内の幹線道路は生活動線のネットワーク性を高め、四季を感じさせる親しみやすい空間デザインを検討している。

デザイン指針とチェックリスト	
<p>歩行者や自転車が安全・快適に利用できる道路としましょう</p> <p>歩行者の多い駅前の道路や市民の日常的な生活空間となる住宅地の幹線道路では、わかりやすく、誰もが安全で快適に利用できるよう構造やデザインを検討している。</p> <p>舗装面は滑りにくく、また大きな段差をつけないようにするなどユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>道路の規格に応じて適切な歩車分離を検討し、可能な場所では車の狭窄やハンプなどによりコミュニティ道路としての整備も検討している。</p>	
<p>道路景観の連続性を大切にしましょう</p> <p>街路樹や植樹帯により連続性のある緑の帯をつくっている。</p> <p>舗装のデザインにより個性ある通りとしての演出に配慮している。</p>	
<p>ポイントとなる場を特徴づけましょう</p> <p>主要な交差点部は舗装の変化や街角広場等の設置により特徴づけている。</p> <p>横断歩道や横断歩道橋、バス停などをデザインのポイントとしている。</p>	
<p>維持管理にも配慮した素材や施設を考えましょう</p> <p>耐久性があり汚れが目立たない素材を採用するなど維持管理面に配慮している。</p> <p>地域住民が管理に関われる花壇などのスペースを確保している。</p> <p>整然と駐輪できる施設やスペースを確保している。</p>	
その他	

記入日： 年 月 日

### 整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

### 施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

### 対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

### 項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
地域の顔となる個性的で魅力的な駅前広場として整備しましょう 交通広場の配置、デッキ、照明や植栽、駅舎の一体的なデザインにより顔となるイメージづくりを図っている。 待ち合わせなどのため人の集える空間を確保している。

デザイン指針とチェックリスト

誰もが利用しやすいゆとりのある歩行者空間の確保と緑の演出を工夫しましょう

市民が駅前で集い、楽しめる広場空間の確保につとめている。

歩行者に樹陰をもたらす高木の導入を工夫している。

大きな段差をなくすなど移動のしやすさに配慮している。

ピクトグラムの表示や多か国語による表記などわかりやすい案内を工夫している。

駅前広場に設置する施設は一体的なデザインを検討しましょう

交番、公衆トイレ、駅前駐輪場など、駅前広場や駅舎デザインとの調和に配慮するとともに、景観のポイントとなるような高質なデザインを検討している。

ペDESTリアンデッキを配置する場合は、歩行者動線と沿道施設利用に配慮し、配置や高さを検討している。

その他

記入日： 年 月 日

整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
人の活動との連携や地域性に配慮した個性づくりを工夫しましょう 敷地の規模等に合わせて多機能となりすぎないように留意しながら特徴を持たせたデザインとしている。 子どもの遊び場や大人の休憩スペースなど利用のされ方を意識した空間を用意している。 街なかの広場では待ち合わせや憩いなど、人の活動とつながりをもたせるようデザインを工夫している。



## デザイン指針とチェックリスト

誰もが利用しやすく、周辺に対して開放感のあるつくりを検討しましょう  
境界部には可能な限りフェンスや塀を設けず、開放的で明るいイメージとしている。  
足元の視界や交差点での見通しを確保するなど安全に利用できる空間づくりを検討している。  
境界部の段差の解消や車いすでの利用にも対応した遊具を設置するなどユニバーサルデザインに配慮している。

公園の性格や敷地の状況に応じた緑化を考えましょう  
施設の性格や敷地の状況に応じて中高木や低木、地被類など多様な緑を効果的に導入している。  
常緑樹や落葉樹を組み合わせた樹種の選定により、四季の変化を楽しめるよう工夫している。  
高木を配置する場合は死角をつくらず、視界を妨げないように配慮している。

周辺からの見られ方、施設から周辺の見え方を意識しましょう  
ポイントとなる場所がひきたつようデザインの調整を図っている。  
シンボルツリーなどアイストップとなる要素の配置を検討している。  
高低差のある公園や広場には眺望できる場所をつくっている。

その他

記入日： 年 月 日

整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
河川の機能と性格に応じた自然的環境の保全・再生に配慮しましょう 河川改修に際しては多自然型工法など、自然浄化機能の維持向上に資する整備を検討している。 水の流れを確保する工夫や噴水や落差を活かした酸素を取り入れる工夫、導水等により水質の向上を図っている。 可能な場所では市民参加による水辺のピオトープづくりを検討している。

## デザイン指針とチェックリスト

人々の生活との関わりや地域性に配慮した地域になじむデザインを工夫しましょう

地域で親しまれている緑など既存の樹木を保全するとともに、新たに緑化を行う際には植生に配慮した樹種を選定し、園芸品種は避けている。

緑化ブロックやツタ、張芝等の他、蛇籠や柳枝など伝統的な工法の採用も検討するなど、地域文化を感じさせる緑豊かな河川空間をつくっている。

石や木など本物の自然素材の活用につとめ、擬石や擬石、鋼矢板の使用は避けている。

水辺の散策路や水辺に親しめる場所づくりにつとめましょう

歩道や管理用水路、水際のテラスなどを活用し、水辺の散策ルートづくりにつとめている。

水辺や周辺の景観資源と連携を図っている。

その他

記入日： 年 月 日

整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
周辺との一体的な景観を構成する要素となるようデザインしましょう 周辺の土地利用や水辺のイメージなどにふさわしいデザインのあり方を考えている。 橋梁の構造がもつ特徴を活かしたシンボリックなデザインとしている。

## デザイン指針とチェックリスト

橋上施設や橋詰を含めた一体的なデザインを検討しましょう。  
 地域の歴史性や、橋の歴史などを考慮して高欄、親柱、舗装を一体的にデザインしている。  
 形態に具体的なモチーフを用いる場合には安易なものせず、公共施設としての風格や周辺景観との調和を考えた質の高いデザインを検討している。  
 橋台や橋上施設の修景はできるだけ石や木、その他、自然素材を活用している。

歩道にゆとりがある場合は橋上緑化を検討しましょう  
 コンテナやプランターを用い、橋上緑化につとめている。  
 橋詰広場を設ける場合は高木植栽を検討している。

水辺の眺めを楽しめる場づくりにつとめましょう  
 橋詰広場を設ける場合は、水辺の眺めを楽しめる広場として整備している。  
 可能であればアルコーブなど橋上にたたずむゆとりのスペースを設けている。

その他

記入日： 年 月 日

### 整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

### 施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

### 対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

### 項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
象徴性に配慮したデザインを工夫しましょう 施設の機能や立地などからランドマークとなるべき施設は、特徴的なスカイラインや印象的なファサードのデザインにより象徴性を演出している。 住宅地内や自然環境に近い場所などでは奇抜な形態や色彩が周辺環境から突出しないよう配慮している。 壁面の分節化、表情ある素材の使用や陰影のある表面仕上げなどによりきめ細やかなデザインを工夫している。

デザイン指針とチェックリスト

地域性に配慮した親しみやすいデザインを工夫しましょう  
 地域性や近接する公共施設のデザインとの関係に配慮しながら、周辺環境にとけ込むデザインを基調としている。  
 色彩や植栽、エントランスの工夫など、市民に親しまれるデザインを検討している。  
 設備類や倉庫、駐車場等も建物本体と一体的にデザインしている。

誰もが快適に利用できる歩行者空間の形成に配慮しましょう  
 敷地内に可能な限り歩道状空地の確保につとめている。  
 塀や柵をできるだけ低くしたり、前面に低い植栽などを設けるなど歩行者に圧迫感を与えないよう工夫している。  
 大きな段差をなくし、わかりやすい空間構成やサインの設置など、ユニバーサルデザインに配慮している。

花や緑の豊かな戸田らしい緑化を工夫しましょう  
 桜など季節を印象づける樹木や歴史を伝える古木をシンボルツリーとして配置している。  
 防犯面にも配慮しながら、常緑樹と落葉樹、草花等の組み合わせにより四季を演出する敷地内緑化を工夫している。  
 屋上緑化や壁面緑化など個性的な緑化を工夫している。

その他

## 供給処理施設

記入日： 年 月 日

### 整備又は改修する施設名

施設名称を記入してください。

施設名	
-----	--

### 施設の性格チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

施設の性格	市内外の人が多数利用する施設 多くの市民が利用する施設 地区住民が利用する施設 近隣住民が利用する施設
その他	

### 対象地の現況チェックリスト

下記の項目以外でもお気づきの点があれば「その他」の欄に記入してください。

対象地	戸田市
立地の特性	川や水路などの自然資源が近くにある。 寺や神社などの歴史・文化資源が近くにある。 公園や並木道、遊歩道がある。 駅周辺に立地する。 都市の骨格となる道路に隣接している。 周辺の主な土地利用は（住宅地・商業地・工業地・農地）である。
その他	

### 項目ごとのチェックリスト

デザイン上配慮の必要なものが、項目としてあげてあります。指針に沿った考え方であればデザイン例以外の手法を用いても結構です。その場合、留意したことを「その他」の欄に記入してください。

デザイン指針とチェックリスト
広い敷地を活かして緑の拠点となるようデザインしましょう 敷地の緑化と建物や施設の上部の緑化を積極的に進めている。 鉄塔やタンク等の独立した工作物の周囲を重点的に緑化修景している。



## デザイン指針とチェックリスト

親しまれる施設デザインを検討しましょう

長大面の分節化、表情ある素材の使用や陰影のある表面仕上げなどによりきめ細やかなデザインを工夫している。  
落ち着いた色彩の採用により圧迫感を軽減している。

その他

## 用語解説

### 1 公共施設等 [こうきょうしせつとう]

一般的に道路、公園、河川など都市の骨格を形成するような施設を公共施設と呼び、教育施設、官公庁施設、医療施設、コミュニティ施設など住民生活に必要なサービス施設を公益施設と呼ぶ。ここではこれらを合わせて公共施設等としている。

### 2 ユニバーサルデザイン [universal design]

出来る限り最大限、すべての人に利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること。Ron Mace (米国)からは以下の7つの原則を提唱している。

原則1 公平な使用への配慮 (Equitable Use)

原則2 使用における柔軟性の確保 (Flexibility in Use)

原則3 簡単で明解な使用法の追求 (Simple and Intuitive Use)

原則4 あらゆる知覚による情報への配慮 (Perceptible Information)

原則5 事故の防止と誤作動への受容 (Tolerance for Error)

原則6 身体的負担の軽減 (Low Physical Effort)

原則7 使いやすい使用空間 (大きさ・広さ) と条件の確保 (Size and Space for Approach and Use)

### 3 狭容やハンプ [hump]

十分な歩道の設置が困難な道路を対象として行う、車の走行を抑制するための構造的な工夫。狭容は自動車の通行部分の幅を歩道や植栽等によって部分的に狭くする方法。ハンプは車道面を凸型に盛り上げる方法。また、構造を変えず、舗装の素材、色彩等によって視覚的に同様の空間として車の運転者に注意を喚起するイメージ狭容、イメージハンプという手法も使われている。

### 4 コミュニティ道路 [こみゅにていどうろ]

人と自動車が共存することを目的として整備する道路。自動車が自然に減速するようなカーブを取り入れたり、狭容やハンプにより歩行者の優先をはかるもの。また、近年コミュニティゾーンと呼ばれる、住居系地区などにおいてゾーン内の速度規制と、通過交通の進入抑制などととも地区単位でのコミュニティ道路の整備を進め、歩行者が安全に歩ける地区の環境整備事業もある。

### 5 ペDESTリアンデッキ [pedestrian deck]

歩行者専用的高架道路。駅前広場をまたいで駅と建物をつないだり、建物どうしを2階のレベルで結ぶのに用いられる。

### 6 園芸品種 [えんげいひんしゅ]

交配などによって原種植物を人為的に、より育てやすく鑑賞向きに作った植物の品種で、花色、花つき、花容の面で園芸的な目的を達成しているもの。

### 7 蛇籠・柳枝 [じゃかご・りゅうし]

いずれも護岸の伝統的な工法の一つで、蛇籠は竹または針金で編んだ長い籠に栗石を詰めしたもの。石と石の間隙が水生生物の生息環境となる。柳枝は自然素材である石と、そだ(木の枝を束ねて組み合わせたもの)で法面を覆いやナギで作った杭を打ち込み法面を丈夫にする工法。水際に柳枝工を設けると数年で緑豊かな河岸が生まれる。

### 8 橋詰 [はしづめ]

橋の取り付け部。「火よけ地」「交通の緩衝地帯」「広場」などの機能をあわせ持つ。

### 9 アルコーブ [alcove]

一般に建物の壁面の一部を後退させて作る窪みや空間を指すが、ここでは橋上に見晴らし場となるよう作られた空間を意味する。

### 10 ボラード [bollard]

車止めのための鉄や石などの杭。

### 11 パーゴラ [pergola]

植物を誘引して立体的に仕立てるために用いる。基本構成は柱と梁で、柱はつる性植物を固定し、梁は這い上がってきた植物を横に広げるために必要。

### 12 高演色ランプ [こうえんしょくらんぷ]

自然に近い、滑らかな波長の灯りで、灯下の様々な物の色を美しく見せる。低圧ナトリウムランプなど効率

(1Wあたりの光源から出る光の量)が高い光源ほど演色性が低いとされるが、ナトリウム灯にも演色改善型や高演色型などがある。

### 13 色温度 [いろおんど]

光の固有の色を表すもので、ケルビン (K) を単位とし、色温度が低い (オレンジから黄色) 光はやすらぎや落ち着きを、色温度が高い (白から青っぽい色) 光は緊張感を与えるとされる。

For city amenities

PUBLIC DESIGN  
GUIDELINES

美しい都市づくりのための  
公共施設等デザインガイドライン

発行年月 令和3年 月改定  
発行 戸田市都市計画課  
戸田市上戸田 1-18-1

本ガイドラインの内容を無断で使用することを禁止  
します。

